

第121回 国際母子カンファレンス 今改めて 母乳育児について考える —世界中の赤ちゃんとおかあさんのために—

私達の日々の診療においても、途上国で母子保健事業に取り組む際にも、空気のように身近な「母乳育児」。赤ちゃんとおかあさんに「やさしい」と言われる母乳育児の本来の意味を、私達は真に理解しているでしょうか。

世界中の赤ちゃんとおかあさんの将来と幸せにとって大切な母乳育児について、長年現場で支援を続けてこられた第一人者の先生にお話しを伺います。

日時：2014年9月10日(水) 18:00 - 20:00

場所：研修センター 5階 大会議室

講師：山内 芳忠 先生

(吉備国際大学特任教授、一般社団法人日本母乳の会前代表理事)

山内先生プロフィール：

1970年より国立岡山病院勤務。
新生児医療の第一線に立ちつつ、
母乳栄養と新生児黄疸の関連性の研究、
経皮的ビリルビン測定器の開発、
近赤外分光法の臨床応用などを
精力的に進めてきた。
1992年、国立岡山病院が先進国
で初めて「赤ちゃんにやさしい病院」に
認定されたのをはじめとして、日本全国の
母乳育児推進運動を牽引してきた。
2010年より現職。



ラオスの村にて 2007

講演の前に、産科、小児科、国際医療協力局母子グループからのマンスリーレポートがあります。

主催：国際母子タスクフォース（協賛：医薬会）